

た　ち　ば　な　新　聞

発行所 宝清寺
〒197-0821
東京都あきる野市小川101番地
電話 042-558-2663



秋彼岸

九月二十四日(日)～二十五日(月)

お彼岸にはお花を供え

ご家族で墓参致しましょう

彼岸とは、古説に「生死の境界を此岸に譬え、業・煩惱を中流に譬え、涅槃を彼岸に譬う」また、『教行信証御書』には「佛果涅槃をいう。生涯の大海を渡すものを佛道とし、その大海の彼岸は即ち、不生不死の常住安樂を涅槃という」。

涅槃寂靜を彼岸ということ、即ち悟りを開いた境地を指すものであり、悟りの道を表したものです。この悟りや涅槃は、過去の聖僧が難行苦行の結果成し遂げられ、簡単に体得できるものではないはずです。

現代社会は大きく移り変わり、世紀を追うごとに、更に、変わ

住職ひと口法話 第八十六回

二十世紀前半は戦争と戦後の復興の時代、後半は経済と反映の時代、そうした経緯を経た、二十一世紀は精神的安定の時代を迎えるのが順当ではないかと思われました。

しかし、精神的安定どころか、現在も、ロシアとウクライナ、イランとアメリカの戦争が終息が見えない状況にあり、その為物価高などの影響で経済的な負担を強いられています。

そのことも大きな切実な問題ですが、忘れてはいけないのは現代社会で人間関係の希薄化が以前にも増して広がっていることです。私たちの生活の中で、ネットやSNSは欠かせない存在になっています。SNSやチャットアプリの普及により、私たちは手軽にコミュニケーションを取ることができるようになりました。その反面、実際に顔を合わせる機会は減少しています。画面越しのやり取りは便利ですが、相手の表情や感情を直接感ずることができないため、コミュニケーションの深さが失われています。

人間関係が希薄になりやすい背景として、都市や核家族化の

宝清寺の年中行事	
二月節分	厄除け・星祭
三月彼岸中日	彼岸塔婆供養
四月八日	花まつり(灌仏会)
四月八日	オリエンテンプリング
七月十七日	お盆塔婆供養
七月十七日	施餓鬼法要
九月彼岸中日	彼岸塔婆供養
十月十二日	お盆式法要
十二月初旬	お盆金締札

ることを余儀なくされていくと思われま

仏教は科学の宗教です。よく聞く言葉ですが、善因善果、悪因悪果という言葉があります。仏さまは、悪い結果には、それなりの原因があり、それは全て仏の思召しだと教えているのです。原因がある悪ではなく、悪鬼に見入られた現象だとも説いています。

良い結果を期待するには、良い原因を作らなければなりません。それが努力であり精進なのです。未来への希望と一致するところに彼岸があるのだと思われま

に繋が

彼岸の時期にご先祖にお塔婆をお供えし、ご家族で墓参致しましょう。

苦境の此岸より、発想を転換し、幸福の彼岸へ向かって、今在る宿業を今一度見直す機会にもなることと思

進展も大きく影響していると考えられま

かつての日本では地域のコミュニティや大家族の中で、祖母や親族と頻繁に顔をあわせ、自然と人との関わりが生まれやすい環境にありましたが、現代では一人暮らしや核家族世帯が増加し、家族という最も基本的な人間関係や、地域社会とのつながりが薄れていま

さらに、個人的な価値観の多様化により、多くの選択肢がある現代では、自分のライフスタイルや価値観を重視しがちで

す。そのため、他人との関係を深めるよりも、自分の時間を大切に

増えているように感じま

人間関係が希薄になると、孤独感や孤立感が深まり易くなります。人間関係の希薄化は、現代社会において避けられない問題ですが、人間は原始時代から集団生活を営んできており、他者との繋がりを通して安心感や承認欲求を満たしてきました。人間関係の希薄さを感じた時、新しい出会いを求めることも大切ですが、すでに存在する関係を丁寧に見直し、深めていくことも同じくらい重要なのではないで

お塔婆供養と

お塔婆のお申し込みについて

『卒塔婆供養について』

卒塔婆は亡くなられた方の供養のために建てま

お墓は「〇〇家」と彫刻されており、先祖代々の供養のために建てられますが、卒塔婆には亡くなられた方の戒名が書かれ、故人故人の供養のために建てられます。

卒塔婆はもともと古代インドの言葉でストウーパという言葉

を音訳したものです。ストウーパとは仏塔とも訳され、お釈迦様の遺骨を納めた塔のことをいいます。お釈迦様が入滅すると、遺骨が八つに分けられ、八つの国に遺骨を安置するための塔が建てられました。後にはお釈迦様だけではなく、高僧が亡くなってもストウーパを建てるようになりました。ストウーパはもともと

とお腕を伏せたような形をしておりましたが時代によって、また、仏教が中国から日本に渡ってくる間に、色々な形に変化しました。

日本のお寺でよく見ることが出来る五重塔も元をたどれば、ストウーパで、卒塔婆は五重塔の形が元になってできたものです。一番下の四角形は「地」を表し、その上の円形は「水」を表し、その上の三角形は「火」を表し、その上の半円形は「風」を表し、一番上の宝珠型は「空」を表しています。

仏教では「地・水・火・風・空」の五つの要素が、この世界を構成していると考えているのです。そして人間もこの五つの要素によって、生かされていると考えていま

昔は人が亡くなると故人故人の石塔を建てて埋葬していましたが、現代は追善供養の一環として卒塔婆を立てられます。追善供養とは、生きていた人の善行が故人の善行ともなり、その功德が故人に届くことで極楽浄土に導くと考えられています。お盆や両彼岸には、卒塔婆を立てお花をお供えし、墓参致しましょう。

『お塔婆のお申し込みについて』

お盆と両彼岸にお届けする「た　ち　ば　な　新　聞」に、受取人払いの卒塔婆の申込のハガキを同封しております。

書き方等について、お墓に複数のご先祖が埋葬されていて、まとめて先祖への供養として建てる場合は、ハガキの欄の右側の「〇〇家先祖代々之霊」の「〇〇」に家名と建立者の氏名を記入して投函頂きます。

故人に対して個々に建立される場合には「〇〇家先祖代々之霊」の欄の左側に故人の戒名と建立者名を記入して投函をお願いします。ご不明な点は管理寺務所にご相談下さい。